

2020年7月21日

大学長、学部長、関係機関長 各位

法政大学国際文化学部長

衣笠 正晃

(公印省略)

教員の公募について（依頼）

このたび法政大学国際文化学部では、下記の要領で専任教員を募集することになりました。つきましては、関係者ならびに関係諸機関等に周知くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 職名 専任講師、准教授または教授（常勤、任期なし）
2. 募集人員 1名
3. 所属 法政大学国際文化学部
4. 専門分野 日本文学、翻訳論および英語
5. 担当科目
国際文化学部言語文化コースの科目（「日英翻訳論」、「世界の中の日本語」、「言語文化演習」）、メディアコミュニケーション科目（「英語アプリケーションVIII」）、ならびに大学院国際文化研究科（「多言語相関論II」、「修士論文演習」）、市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）の英語科目（「英語オーラル・コミュニケーションI」、「英語オーラル・コミュニケーションII」）など。詳しくは、本学オンラインシラバス（https://sylabus.hosei.ac.jp/web/show.php?nendo=2020&t_mode=pc）を参照してください。
6. 業務内容
（1）学際的な研究・教育を実践できる方。（2）主に市ヶ谷校地における科目担当および国際文化学部、市ヶ谷リベラルアーツセンターを含む大学の運営にかかわる業務を担当できる方。（3）国際文化研究科の学位論文指導を担当できる方。（4）国際文化学部が実施するスタディ・アブロード・プログラム（SA）、スタディ・ジャパン・プログラム（SJ）、海外フィールドスクールの事前指導と運営管理の業務を担当することがあります。
7. 待遇等 本学の規程による。社会保険（健康保険、厚生年金保険、介護保険および雇用保険）については、法の定めるところにより加入する。
8. 応募資格
（1）博士の学位を有するか、博士の学位と同等とみなされる業績を有すること。
（2）国籍は問いません。ただし、教育研究および各種業務を行ううえで日本語が十分使用可能であること。
9. 着任時期 2021年4月1日

10. 応募締切 2020年9月15日(火)午後3時必着

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、郵便物の郵送に時間がかかる場合がございます。締切に間にあいますよう、余裕をもって郵送くださいますよう、お願いいたします。

11. 提出書類

以下の書類を全て提出すること。

- (1) 履歴書(写真貼付のこと)と教育研究業績書 原本1通とコピー5通、計6通
- (2) 日本文学、翻訳論などを含むこれまでの研究内容と今後の研究計画について、A4用紙1枚(1,200字程度)にまとめたもの1通
- (3) これまでの教育経験と着任後の本学における大学教育に関する抱負を A4用紙1枚(英語で500 words程度)にまとめたもの1通
- (4) 主要業績3点の原本または写し。それぞれに日本語による要旨(A4用紙1枚・1,200文字程度)を1通添えること。翻訳の場合は原書もしくは原文コピーも添えること。

※ 履歴書・教育研究業績書は、本学規定のものをお使いください。規定の書類は本学HP内採用情報のページ(https://www.hosei.ac.jp/saiyo/kokusaibunka_bosyu/)からダウンロードできます。

※ (4)の業績資料以外は全てA4用紙、横書きにて準備してください。

12. 選考方法

書類による一次選考および面接による二次選考

※ 面接のための交通費などの経費は自己負担になります。

※ 状況により、web面接の可能性もございます。

※ 一次合格者には2020年10月初旬に連絡します。

13. 書類提出先

封筒に「国際文化学部教員応募書類在中」と朱書きの上、以下の宛先まで書留郵便または宅配便で送付してください。なお提出書類に含まれる個人情報は、選考及び採用以外の目的に使用しません。また応募に関する守秘義務は厳守いたします。

宛先： 〒102-8160

東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学ボアソナードタワー20階

国際文化学部資料室気付 衣笠正晃

14. 問合せ先 fic_saiyo2020@ml.hosei.ac.jp

15. その他

提出書類は、今回の選考のみに使用し、審査終了後に適切に廃棄します。ただし業績資料の返却をご希望の場合は返信用封筒ならびに受取人の住所・氏名を記入済みの宅配便等の着払い伝票を同封してください。

以上